

会合

令和2年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の最終会合を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、2021年3月2、3日の2日間、オンライン形式で令和2年度の AJEEP 最終会合を開催し、ASEAN 各国との間で今年度の事業実施内容の結果と課題について討議を行ないました。

- (1) スキーム2（多国間専門家派遣）はエネルギー管理士指導者育成プログラムの5年目を実施し、ASEAN10カ国からの受講者14名に ASEAN トレーナー資格を付与
- (2) スキーム3（法制度整備遅延国支援）は、カンボジア・ラオスを対象に省エネ法制度整備・S&L 制度・エネルギー管理制度整備の推進状況を確認
- (3) 2021年度の基本計画、さらに AJEEP と ASEAN 行動目標である APAEC Phase-II との連携など、今後の方向性に関する意見交換も実施



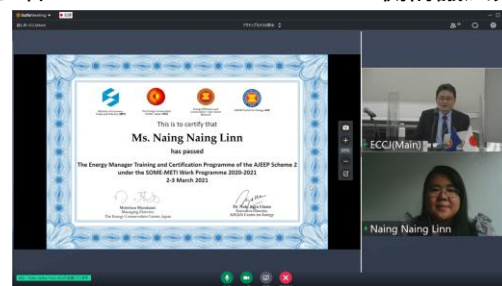
オープニングスピーチ（タイ王国）

参加者

ECCJ 側討議風景



トレーナー認証授与（ブルネイ）



トレーナー認証授与（ミャンマー）

今年度事業の成果の確認、課題の明確化、及び対応策の共有化のためのオンライン会議を開催しました。会議には ASEAN 各国 ASEAN 省エネルギー部会（EE&G-SSN）の各国代表及び ACE が参加し、今年度事業を総括しました。

- (1) スキーム2はエネルギー管理士指導者育成事業の5年目を実施し、10カ国からの受講者14名に ASEAN トレーナー資格を付与しました。COVID-19の影響等で自国での省エネ診断報告書の提出ができなかった方については、診断の実施および報告書が提出された後に、総合評価を行うこととしました。
- (2) スキーム3については、カンボジア・ラオス両国とも2回のオンラインセミナーを実施しました。カンボジアは定期報告書の原案を策定、WGでの協議が開始されました。ラオスは2020年5月に省エネ首相令が承認され制定されました。
- (3) 2021年度の活動は基本的に今年度とほぼ同様の内容となること、さらに2022年度からは、現在の AJEEP の枠組みの中で、APAEC Phase-II の行動計画と連携する新たなスキームを考察していくこと、等が ASEAN 各国ならびに ACE との間で確認されました。

*AJEEP：ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じて ASEAN 地域の省エネ人材を育成するプログラム

*APAEC Phase-II：ASEAN Plan of Action for Energy Cooperation, Phase-II

ASEAN におけるエネルギー協力に関する行動計画。Phase-II 実施期間は2021年から2025年。